

# Microsoft Office 365 の自動検出プロセスを使ったユニファイド メッセージングのトラブルシューティング

## 目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

## 概要

このドキュメントでは、シスコ ユニファイド メッセージングを Microsoft Office 365 と併用する場合に自動検出プロセスが機能しないという問題について説明します。

## 問題

シスコ ユニファイド メッセージングで Office 365 との併用を設定するときには、[Search for Hosted Exchange Servers] フィールドにサイト URL として `mycompany.mail.onmicrosoft.com` と入力します。しかし [Test] をクリックしても、正常なテスト結果がまったく返されません。

追加情報を集めるには、Cisco Unity Connection Serviceability Web ページで追加のトレースを有効にする必要があります。これを行うには、[Trace] > [Micro Trace] を選択して、次を有効にします。

```
CsMBXSync: 02, 10, 11,13,14,15,19,20,22,23
CsEWS: 10,11,12,13
EWSNotify:All
```

ユーザに対してテストを実行する時間枠から以下のトレースを収集するには、リアルタイム監視ツールを使用します。

- Connection Mailbox Sync
- Connection Tomcat

エラーが存在する場合、次の結果がログに表示されます。

```
CsMBXSync: 02, 10, 11,13,14,15,19,20,22,23
CsEWS: 10,11,12,13
EWSNotify:All
```

## 解決策 1

[Search for Hosted Exchange Servers] フィールドのデータを `mycompany.mail.onmicrosoft.com` から `outlook.office365.com` に変更します。変更を保存し、再びテストを実行します。問題が解決されたことを確認します。

## 解決策 2

さらに、ファイアウォールまたはルーティングの問題のために Unity Connection とインターネットの間の通信がブロックされる場合にも、この動作が発生します。これを判別するには、Unity Connection の CLI からネットワーク キャプチャを収集します。Wireshark を使用してキャプチャを開き、表示フィルタで **dns** と入力します。

DNS サーバから Unity Connection に返された CNAME ドメイン ネーム システム ( DNS ) 応答を含むパケットを探します。これには、Unity Connection で使用するよう指示された Office 365 サーバのすべてのパブリック IP アドレスが含まれています。パケット内でこれらの IP アドレスのリストが見つかったら、表示フィルタを変更して見やすくします。

```
CsMBXSync: 02, 10, 11,13,14,15,19,20,22,23  
CsEWS: 10,11,12,13  
EWSNotify:All
```

X.X.X.X は、DNS CNAME 応答で返される Office 365 のパブリック IP アドレスです。

Unity Connection がこれらのパブリック IP アドレスに接続できない場合、TCP SYN はこれらのパブリック IP アドレスへの Unity Connection を終了します。TCP SYN ACK が戻らないため、Unity Connection は次のいくつかの IP アドレスに接続しようとします。その結果、上記の障害が発生します。